

■ \mathbb{N}_0^2 における二項関係 \sim を

$$(n_1, m_1) \sim (n_2, m_2) \iff n_1 + m_2 = n_2 + m_1$$

により定義するとき, 二項関係 \sim は \mathbb{N}_0^2 における同値関係である (証明しなくてもよい). (n, m) を代表元とする同値関係 \sim に関する同値類を $[(n, m)]$ とし, $\mathbb{Z} = \mathbb{N}_0^2 / \sim$ における乗法 \otimes を

$$[(n_1, m_1)] \otimes [(n_2, m_2)] = [(n_1 \cdot n_2 + m_1 \cdot m_2, n_1 \cdot m_2 + n_2 \cdot m_1)]$$

により定義するとき,

$$[(n_1, m_1)] \otimes [(n_2, m_2)] = [(0, 0)] \iff [(n_1, m_1)] = [(0, 0)] \text{ または } [(n_2, m_2)] = [(0, 0)]$$

が成り立つことを示せ. ただし, 加法 $+$ および乗法 \cdot は \mathbb{N}_0 におけるものとする.

(解) (\Leftarrow): 乗法 \otimes の定義より

$$\begin{aligned} [(0, 0)] \otimes [(n_2, m_2)] &= [(0 \cdot n_2 + 0 \cdot m_2, 0 \cdot m_2 + n_2 \cdot 0)] = [(0, 0)], \\ [(n_1, m_1)] \otimes [(0, 0)] &= [(n_1 \cdot 0 + m_1 \cdot 0, n_1 \cdot 0 + 0 \cdot m_1)] = [(0, 0)] \end{aligned}$$

が得られる.

(\Rightarrow): $[(n_1, m_1)] \otimes [(n_2, m_2)] = [(0, 0)]$ より

$$n_1 \cdot n_2 + m_1 \cdot m_2 = n_1 \cdot m_2 + n_2 \cdot m_1$$

が成り立つ. \mathbb{N}_0 における順序関係 \leq は全順序であるから, (a) $n_1 > m_1$, (b) $n_1 = m_1$, (c) $n_1 < m_1$ の何れか一つが成り立つ. (b) の場合には, 同値関係 \sim の定義より $[(n_1, m_1)] = [(0, 0)]$ が成り立つ. (a) の場合を考える. $n_1 = m_1 + k$ となる $k \in S(\mathbb{N}_0)$ が存在し,

$$n_2 \cdot m_1 + m_1 \cdot m_2 + k \cdot n_2 = n_1 \cdot n_2 + m_1 \cdot m_2 = n_1 \cdot m_2 + n_2 \cdot m_1 = n_2 \cdot m_1 + m_1 \cdot m_2 + k \cdot m_2$$

と簡約法則により $k \cdot n_2 = k \cdot m_2$ が成り立つ. $n_2 > m_2$ のときには, $n_2 = m_2 + k$ となる $\ell \in S(\mathbb{N}_0)$ が存在するので, $k \cdot \ell > 0^{*1}$ より

$$k \cdot m_2 = k \cdot n_2 = k \cdot m_2 + k \cdot \ell > k \cdot m_2$$

となり矛盾である. \mathbb{N}_0 における順序関係 \leq は全順序であるから, $n_2 \leq m_2$ が成り立つ. 同様に, $n_2 \geq m_2$ も示せるので, $n_2 = m_2$, つまり, $[(n_2, m_2)] = [(0, 0)]$ である. (c) の場合にも, (a) と同様に $[(n_2, m_2)] = [(0, 0)]$ であることが示せる. ■

*1 $\ell \in S(\mathbb{N}_0)$ より, ある $\hat{\ell} \in \mathbb{N}_0$ が取れて $S(\hat{\ell}) = \ell$ が成り立つので,

$$k \cdot \ell = \Psi_k(\ell) = \Psi_k(S(\hat{\ell})) = \Psi_k(\hat{\ell}) + k \geq k > 0$$

が得られる.